

山々の緑が次第に色濃くなり、雨に鮮やかな紫陽花と飛び交うツバメに季節を感じる日々となりました。

記念すべき第30回「つちのこフェスタ2019」は、大型連休と好天に恵まれたこと、マスコミによる事前告知などの効果で、推定4千人以上の参加者で賑わいました。おそらく東白川村イベント史上最高の参加者数であったことには違いありません。テレビの取材も3社あり、村の知名度アップや経済効果は大いに上がったイベントとなりました。ご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

しかし、盛況を喜ぶ一方で駐車場不足、シャトルバスに乗り切れない人が多かったこと、交通渋滞、売り切れ続出の品物がでる等々課題も多く挙がり、一度冷静に検証し、今後の開催方法をあらゆる点で見直す必要に迫られたことにもなりました。

大切なことは、参加していただく皆様も、おもてなしをしていただく村民の皆様も、笑顔で、安全で、楽しいイベントでなければ持続できないと考えております。皆様のご意見もお寄せ下さい。

梅雨の時期は、災害の危険も高まる季節の到来でもあります。昨年7月の豪雨洪水災害を受けて、岐阜県では全ての県管理の河川について水害危険情報図を作成し、公表しました。また、柏本川、西洞川、左広川、大明神川、新巣川に危機管理型水位計を設置する予定であります。これらの情報はインターネットで閲覧することができますので、防災に活用していただきたいと思います。村では災害に強い村を目指し、新たに防災対策監を増員し、自主防災会の強化、ハザードマップや地域防災計画の見直しなどを進めてまいります。

これから自治会や自主防災会を通じて、防災についての訓練や防災情報を出しているいろいろなお願いをしておりますので、ご協力をお願い致します。

平成から令和へ、改元という歴史に残る5月が10連休という今まで経験したことのない長い休暇で幕を開け、通常感覚に戻るまでしばらく時間がかかった方も多かったのではないのでしょうか。農林商工団体、教育委員会関係団体、村人会などの総会が続くこの時期、様々な団体の皆様により東白川村が支えられていることを実感しつつ『地域力』を頼もしく感じている昨今です。

令和元年6月

東白川村長 今井俊郎